

生ホタテ貝柱分離作業の機械化

Machinization of Raw-Scallops Separating Process

情報システム部 多田 達実

■支援の背景

本道の漁業生産において、ホタテは生産量・生産額共に非常に高く、重要な魚種の一つとなっています。しかし、加工作業の中で行われる生鮮貝柱の分離作業は、非常に煩雑で人手を多く必要とし作業効率の妨げとなっています。(株)ニッコーはそのような生鮮貝柱の分離作業を自動的に行う装置を開発し、製造・販売を行っています。当场では、分離作業の機械化を推進するため、従来から水産加工現場で行われている手剥きなどの分離作業方法と機械処理との違いを明確化するための各種試験方法について技術支援を行いました。

■支援の要点

1. 機械化の推進のための課題の整理
2. 従来方法と機械処理の性能比較試験方法の検討
3. 性能比較試験の実施



ニッコー製ホタテ貝自動生剥き機（試験機）



機械処理後の貝柱

■支援の成果

1. 水産試験場の協力を得て、オホーツク地域における貝柱分離作業の状況を調査し、機械化の推進のための課題を整理しました。
2. 従来の処理方法を機械処理に置き換えることが可能であるかを判断するため、性能比較試験方法を検討しました。
3. 検討した方法の試験を実施し、ニッコー製の貝柱自動剥き機と従来法との性能の違いを明らかとすることができました。

(株)ニッコー 釧路市鶴野110番地1 Tel.0154-52-7101